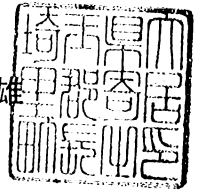


寄まち発第 2705 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

寄居町長 津 久 井 幹 雄



『 今後の道路行政についての意見・提案 』について（提出）

平成20年9月19日付、国道企第37号により依頼のありました標記について、
別添様式のとおり提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県寄居町

- ・ 右折レーンの無い交差点については、交通渋滞の解消及び交通の円滑化のため、改良整備を図っていただきたい。
- ・ 道路工事が原因で渋滞が起きている場合、せめて『〇月頃完成予定』という表示（看板）でもあれば、ドライバーは他の道路へ迂回すると思われますが？
- ・ 騒音の大きい区間（箇所）については、遮音壁の設置や低騒音舗装を施していただきたい。
- ・ 見通しを悪くする植樹帯低木の刈込みや除草は、交通事故防止の面からも、早めの発注を希望します。
- ・ 道路の非常駐車帯にゴミ投棄が多いので、何か対策を講じていただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県寄居町

○現状

本田技研工業株式会社が、国内では約３０年ぶりとなる四輪完成車工場の建設を寄居町に進めております。

本町におきましては、関連企業の誘致による自動車関連産業などの集積を目指すため、企業誘致推進計画を作成したところであり、企業が進出しやすい環境づくりに取り組んでいます。

○課題

平成２２年から新工場の稼働が予定されており、資材や完成品の運搬、従業員の通勤や関係者の視察等により、自動車交通の増大が予想されます。

したがって、国県道等幹線道路の基盤整備は、不可欠なものであり、急務を要します。

②－２ 地域の目指すべき将来像

本町における南北方向の幹線道路である国道２５４号は、新工場へのアクセス道路でもあり、歩道整備や交差点改良等により、地域住民の安心・安全を確保する。また、新工場と関越自動車道花園インターチェンジとの間にある既存道路を整備し、併せて中長期的な対応としてバイパス等の整備も考慮しつつ、将来交通量に対応した道路ネットワークの充実を図る。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県寄居町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通量の分散化	寄居・小川地区における道路整備 （平成２４年完成予定）	国道２５４号小川バイパスは、現在でも交差点を中心に渋滞が認められる。この『寄居・小川地区における道路整備』は、最も混雑する区間（寄居新工場出入口～小川ＢＰの嵐山小川ＩＣ出入口間）を迂回するルートのため、交通量の分散が期待される。	